

競技注意事項

【団体戦】

- ① オーダーについて
シングルスNo. 1、シングルスNo. 2、シングルスNo. 3の順は、登録順位順とする。
また、ダブルスNo. 1、ダブルスNo. 2の順は、ペアのシングルス登録順位の合計値が小さい方をダブルスNo. 1とし、合計値が同数の場合は、登録順位最上位者の属するペアをダブルスNo. 1とする。
- ② オーダー用紙の提出について
ア) 監督が大会本部へ提出すること。
イ) 団体戦進行表で指示している時間内に大会本部へ提出すること。
ウ) QF（対戦相手が事前に決まっていない試合）では、対戦相手決定後20分以内に大会本部へ提出すること。
- ③ 試合方法について
ア) 1ラウンドと2ラウンドの初回戦となる対戦は全てのポイントを行うことを原則とするが、それ以降は勝敗決定後打ち切りとする。
イ) 試合前のウォームアップは3分間とし、エンド決定後、速やかに試合時の服装で行うこと。
ウ) 「セットブレイク・ルール」を適用する。
エ) ファーストゲーム終了後に90秒の休憩を認め、ベンチコーチによるアドバイスを受けることができる。
オ) ポイント間は最長25秒、エンド交代時は最長90秒、セットブレイク時は最長120秒のルールを厳守すること。
カ) 特別の事情により試合が消化できない場合は、試合方法・会場等を変更する場合がある。
- ④ オフィシャル・トレーナーについて
本大会にはオフィシャル・トレーナーが常駐する。
ア) 選手は試合中主審またはRUを通じてトレーナーを要請し、レフェリーが許可すれば次のエンド交代時、セットブレイクの間にMTOをとってケガや病気の手当ができる。
イ) 緊急を要する場合は直ちにMTOを取ることができる。
ウ) 試合中に学校や個人のトレーナーによる治療は行えない。
エ) 体力消耗、けいれんなどの処置でMTOは与えない。（レフェリーが判断する）
- ⑤ 失格及び棄権について
ア) 下記の場合、レフェリーの判断により失格とする
 - ・ 指定された時間に監督受付（オーダー用紙の提出）が終了していない場合。
 - ・ 試合開始時に際し、オーダーオブプレーに記載、またはレフェリーが発表した試合開始時間から15分以内にプレーの用意ができていない場合。
 - ・ コード違反を重ねた場合
 - ・ 重大な、あるいは悪質なコード違反をおこした場合。
イ) 下記の場合、棄権とする
 - ・ 怪我や体力消耗やけいれん等によりプレーが続行できない場合。
- ⑥ オーダー表と違う選手が試合を行った場合について

- ア) ゲームが始まった(第1ポイントの第1サーブが打たれた時)以降にオーダー表と違う選手であると確認された時点でその選手(ペア)の敗戦とし、その試合は終了とする。
 - イ) 間違った選手が別の試合に出場予定だった場合は、その対戦も敗戦となる。
 - ウ) 対戦相手の選手がオーダー表と異なる場合、ベンチコーチはポイント間で主審またはRUに指摘することができる。
 - エ) 主審またはRUはレフェリーに確認後、規則違反によりその試合の勝敗が決まったことをアナウンスする。
- ⑦ 試合球について
- ア) 指定されたボールを1試合2球使用する。
 - イ) バストオブ3タイプブレークセットは1セット毎に2球ボールを交換する。
- ⑧ 審判について
- ア) 高校生審判で行う。ただし、17時以降に開始される試合に関しては、セルフジャッジで行う。
 - イ) 1R~QFまでは、3人制(主審+線審3人)で行い、SF・Fは、5人制(主審+線審5人)で行う。
 - ウ) コートエリアごとにRUを置く
 - エ) 感染症対策等により、大会前や大会中に審判方式が変更になる場合がある。
- ⑨ ベンチコーチ、スコア係、ボールパーソンについて
- ア) ベンチコーチは1人のみ認めるが、監督または登録選手に限る。相手チームや選手、審判に敬意を払うこと。
 - イ) コーチングすることができるのは、ベンチでの休憩時(「エンドチェンジ」、「セットブレイク」、「各セットファーストゲーム終了後」)のみとする。タイブレーク中の「エンドチェンジ」時はできないので注意すること。
 - ウ) ベンチコーチの試合中のコート移動については、当該試合、隣接コートでの試合の妨げにならなければ、ポイントとポイントの間でもできるものとする。
 - エ) スコアの表示は、エンドチェンジの時にスコアボードのある側にいた選手が行うものとする。ただし、スコア係をつけても構わない。
 - オ) ボールパーソンはシングルスのみ1コートにつき1校1人を認める。ただし、選手と会話してはならない。
- ⑩ 服装・持ち物について
- 選手・ボールパーソン・監督の着用するウォームアップウェア・ベンチコート、および持ち込むバック等については、学校名や製造業者ロゴの大きさ等を規制しない。
- ⑪ ゼッケンについて
- ユニホームの「右胸」に学校名の掲示を、「後ろ身頃」に登録番号の掲示を義務づける。
- なお、ゼッケン・登録番号は主催者側で用意し、監督連絡会で配布する。
- ⑫ 表彰式について
- ア) SF終了後、男女3位入賞校の表彰式を行う。
 - イ) F終了後、男女優勝校・準優勝校の表彰式を行う
 - ウ) 対象校は必ず参加すること。
- ⑬ その他
- 感染症対策等が発表された場合はそこに定めたルールを厳守すること。

【個人戦】

- ① 出場資格について
団体戦出場チームの登録No. 1の選手と47都道府県推薦選手、及び福岡県特別枠推薦選手を対象に行う。
- ② 試合会場について
ア) Q1R～Q4Rは「春日公園テニスコート」で行う。
イ) 1RからFまでは「博多の森テニス競技場」で行う。
- ③ サインインについて
ア) 指定された時間までに、選手本人が個人戦サインインを行うこと。(荒天時も同様)
イ) サインインの締め切り時間と場所については、以下のとおりとする。
 - ・団体戦の登録No. 1の選手は、
3月21日(火) 17:00までに「博多の森テニス競技場 本部受付」
 - ・個人戦出場のみ選手は、
3月21日(火) 17:00までに「博多の森テニス競技場 本部受付」または、
3月22日(水) 初戦のNB・SAの15分前までに「春日公園テニスコート 本部受付」
- ④ 試合方法について
ア) 試合開始時、RU、SCUまたは主審の指示に従い挨拶を行うこと。
イ) 試合前のウォームアップは5分間とし、エンド決定の後、速やかに試合時の服装で行うこと。
ウ) 「セットブレイク・ルール」を適用する。
エ) ポイント間は最長25秒、エンド交代時は最長90秒、セットブレイク時は最長120秒のルールを厳守すること。
オ) 特別の事情により試合が消化できない場合は、試合方法・会場等を変更する場合がある。
- ⑤ オフィシャル・トレーナー
本大会にはオフィシャル・トレーナーが常駐する。
ア) 選手は試合中RU、SCU、主審を通じてトレーナーを要請し、レフェリーが許可すれば次のエンド交代時、セットブレイクの間にMTOをとってケガや病気の手当ができる。
イ) 緊急を要する場合は直ちにMTOを取ることができる。
ウ) 試合中に学校や個人のトレーナーによる治療は行えない。
エ) 体力消耗、けいれんなどの処置でMTOは与えない。(レフェリーが判断する)
- ⑥ 失格及び棄権について
ア) 下記の場合、レフェリーの判断により失格とする
 - ・指定された時間にサインインが終了していない場合。
 - ・試合開始時に際し、オーダーオブプレーに記載、またはレフェリーが発表した試合開始時間から15分以内にプレーの用意ができていない場合。
 - ・コード違反を重ねた場合
 - ・重大な、あるいは悪質なコード違反をおこした場合。
イ) 下記の場合、棄権とする
 - ・怪我や体力消耗やけいれん等によりプレーが続行できない場合。
- ⑦ 試合球について
ア) 指定されたボールを1試合2球使用する。

- イ) バストオブ3タイプブレークセットは1セット毎に2球ボールを交換する。
- ⑧ 審判について
- ア) Q1R～Q4Rは、セルフジャッジで行い、コートエリアごとにRUを置く。
- イ) 1R～QFは、SCUで行う。
- ウ) SFは、高校生審判5人制（主審+線審5人）で行い、Fは、高校生審判9人制（主審+線審9人）で行う。
- ただし、17時以降に開始される試合に関してはSCUで行う。
- エ) 感染症対策等により、大会前や大会中に審判方式が変更になる場合がある。
- ⑨ ボールパーソンについて
- ア) ボールパーソンは1コートにつき1校1人を認める。
- イ) 選手と会話してはならない。
- ⑩ 服装・持ち物について
- 選手・ボールパーソンの着用するウォームアップウェア・ベンチコート、および持ち込むバック等については、学校名や製造業者ロゴの大きさ等を規制しない。
- ⑪ ゼッケンについて
- ユニホームの右胸に学校名の掲示を義務づける。なお、ゼッケンは主催者側で用意し、3月21日（火）までは「博多の森テニス競技場 本部受付」で、3月22日（水）は「春日公園テニスコート 本部受付」で配布する。
- ⑫ 表彰式について
- ア) SFが終了した後、男女3位入賞選手の表彰式を行う。
- イ) 男女それぞれのFが終了した後、優勝・準優勝選手の表彰式を行う。
- ウ) 対象選手は必ず参加すること。
- ⑬ その他
- ア) 本戦については、個人戦と団体戦が同一会場のため、試合は団体戦が優先される。個人戦の試合進行に変更が生じた場合は、大会会場オフィシャルボード、全国選抜高校テニス大会HP個人戦専用サイトおよびラインワークス（監督または引率責任者に利用アカウントを付与）で連絡する。
- イ) 感染症対策等が発表された場合はそこに定めたルールを厳守すること。

《略語について》 RU : ロービングアンパイア SCU : ソロチェアアンパイア、
 MTO : メディカルタイムアウト SA : スタートアット
 NB : ノットビフォー（挿入）

その他

- ①主催者において団体保険(傷害保険)に加入する。
- ②宿舎は指定業者「株式会社日本旅行九州 法人営業部」を通じて予約をすること。
- ③出場校は大会HPとパンフレットに使用する写真(同一のもの)と6秒動画を撮影しておくこと。
 形式は自由。後日指定されたアドレスへeメールに添付し送付すること。※詳細については選考委員会終了後、各校監督宛に送る資料で確認すること。
- ④大会参加に際して提供される個人情報(全国選抜高校テニス大会の活動に利用するもの)とし、これ以外の目的に利用することはない。主催者及び主催者が許可した団体、企業が写真や動画など

を撮影する場合がある。これについては、2005年4月18日に全国高等学校体育連盟から、各専門部に通達された「個人情報保護法及び肖像権に関する取り扱いについて」という通知に則る。

- ⑤新型コロナウイルス感染症への対策や運営方針は、情勢に合わせて変更し大会HPにて逐次発表するので定期的な確認を心がけ、選手・保護者とも共有すること。